

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和3年 3月12日

事業所名 : 放課後等デイサービス キッズすまいる

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	83%	17%	活動室に全児童が入ると狭いので多目的室と活動室で場所を分け対応しています。	多目的室(体育館)があるため、児童が十分に体を動かす事が出来ています。
	2	職員の配置数は適切である	100%			配置数は適切です。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	50%	50%		バリアフリーに関して、気になる段差等はありませんが今後、出てきた場合は配慮します。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	100%		職員会議、毎日の申し送りの際、改善点があれば、課題を共有し対応する事を心掛けています。	ISOを取得しています。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	100%			今年度課題で上げられた項目は次年度の課題として対応します。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	100%			ホームページで公開しています(令和3年3月12日)
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	100%			外部評価でISO認証しています。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	100%			今年度は新型コロナウイルスが流行の為、研修も中止になる事が多かったが、事業所では月1回サポーターズカレッジを利用し、講義を受け支援に繋げています。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	100%		アセスメント・計画書は様式を年単位で見直し、児童の発達状況等加味して実施しています。	保護者への聞き取りは送迎時の申し送りや連絡帳を活用し、情報収集・分析・目標設定等行なっています。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	100%			事業所、独自のアセスメントを行っています。自宅の様子(保護者様)、事業所の様子(職員)の両面から様子を確認するように取り組んでいます。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	100%		細かい活動内容は、職員全体で話し合いの機会を持ち立案しています。	月案は児童発達支援管理責任者が作成しています。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	100%		児童に負担をかけないよう活動プログラムを組み立てています。	職員会議での話し合った内容・反省点を踏まえ検討・実施しています。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	83%	17%	長期休みの場合は、休みに入る前に全体会議を行い、時間の使い方や活動内容の確認を行っています。	今年度は長期休暇(夏休みや冬休み)は行事活動がメインとなり、次年度は個別活動や宿題にも力を入れて行っていきます。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	100%		障害特性に配慮し、活動内容も反復できるよう設定しています。	基本生活面(個別活動)・社会生活面(集団活動)という形で一週間のプログラムを組み立てています。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	100%		毎日、打ち合わせを行ない、その日の活動内容等について確認しています。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	67%	33%	緊急性がある場合は検討の場を設けています。	今年度も勤務時間の関係上、帰りの打ち合わせは実施出来ていない為、次年度は行ない早い段階で情報を共有し対応したいです。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	100%		検討事項は緊急の会議等行い改善しています。	日々の支援の際にあったことは、ケース記録や日誌に載せることで統一しています。今後も継続してまいります。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	100%		状態が急変したり、支援内容等について変更する場合はその都度、支援会議を行い職員間で情報共有・検討・周知・改善を行っています。	児童1人につき、年2回、支援会議を実施し、見直しや改善すべき点など話し合い、日々の支援に反映させています。
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	100%			慣習行事や、行事活動に向けた製作や準備、地域資源の活用等を平日、長期休み等でプログラムを組み実施しています。	
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	100%			サービス担当者会議には、児童発達支援管理責任者が参加しています。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	100%		年度初めには各学校の年度計画を頂いています。また、月初めには各学校の予定も頂き下校時刻や行事予定の確認をしています。	急な予定変更等は学校迎えの際に申し送りとして受けています。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている				現在のところ、該当する児童はいませんが今後、該当児童がいた場合には検討して受け入れ態勢をとってまいります。

関係機関や保護者との連携	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	33%	67%		保護者や相談員からの情報が多い為、次年度は新規で利用が確定している場合は事前に園や学校の見学や情報を頂けるよう依頼し、対応していきたいです。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	83%	17%	求められても対応できるように準備しています。(アセスメントや児童個々の対応についてのケース記録、個別支援計画・報告書等)。	いつ情報を求められてもいように資料作成を実施しています。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている					今年度はそのような機会はありませんでした。今後、機会があれば行っていきたいと考えています。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある					今年度はそのような機会はありませんでした。今後、機会があれば行っていきたいと考えています。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している					今年度はそのような機会はありませんでした。今後、機会があれば参加していきたいと考えています。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	100%		送迎時の申し送りや連絡帳を活用し、様子や活動等で出来た事等を伝えていきます。また、自宅での様子を確認し事業所、自宅でも共通理解しています。	ご自宅と事業所での様子を保護者様と共有し、日々の支援に繋げています。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	50%	50%	自宅出来ない事については事業所内での取り組みを伝え、保護者様と連携し行うことで情報共有もできています。	次年度はペアレント・トレーニングに力を入れて取り組みたいと考えています。	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	100%			契約時に面談等を行い重要事項説明書を見ながら説明を行っています。また、同意書も頂いています。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100%		日々の申し送り等で家庭での悩み等を聞き、事業所内でも児童に確認を行いながら支援し保護者様へ助言しています。	今後、専門性を高め助言と支援を行なえるようにしたいです。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している					非該当。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	100%				保護者様からの要望等に関しては寄り添えるよう柔軟に対応しています。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	100%				月に一度、保護者様へ向けて広報誌を発行しています(活動中・日常の様子の写真を載せています)。次年度は避難訓練などの取り組みも掲載したいです。
	35	個人情報に十分注意している	100%				個人情報同意書にて説明・同意を頂いています。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100%		障害の重い児童とはPECSや視覚支援等のコミュニケーションツールを用いて意思疎通を行っています。	保護者様とは送迎時の申し送りや連絡帳を活用し意思疎通しています。次年度は面談も実施し、より深い所まで聞き、対応したいです。	
非常時等の対応	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		100%		地域住民を招待できる程の大きな行事は実施していませんが今後、開催する場合は地域住民を招待できるような体制を整えていきたいと考えています。	
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	100%		保護者様には重要事項説明書にて説明し同意書に氏名等ご記入して頂いています。職員には職員会議等で周知しています。	今年度は新型コロナウイルス対応について都度情報を更新しました。次年度も職員間で共通認識のもと対応していきたいです。	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	100%				月に1回、避難訓練を実施しています。保護者様にもその取り組みを実施している事を伝えていきたいです。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	83%	17%	毎月末に個々の職員が虐待防止についてのチェック表(SDS)を使用し、振り返りを行なっています。	コロナ禍での研修について検討していきたいです。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	83%	17%			緊急やむを得ない身体拘束等の行動制限に関する事を同意書にて説明し、同意を頂いています。また、その内容を個別支援計画書に記載し、保護者様のご理解のうえ、捺印を頂いています。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	83%	17%	調理活動等がある場合はその都度調理する内容を保護者様に確認し、出来るだけ他児童と一緒に楽しめる内容の物を提供しています。	医師の指示書に基づく対応は行なっていませんが、アレルギーのある児童の保護者様より詳しい内容をその都度聞き取っています。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	67%	33%			事例集はありませんが、ヒヤリハットは会議等で共有し、対応しています。